

- 問1 聖徳太子が活躍した飛鳥時代初期の文化や制度に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- 漢文体による十七条の憲法に加え、律(刑罰)と令(政治規定)が同時に整備された。
 - 武士の心得を記した成文法が作られ、各地の守護や地頭がこれに従って土地を統治した。
 - 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。
 - 個人の家柄を重視し、氏姓制度に基づいて特定の氏族が世襲で高い官職を独占した。
- 問2 飛鳥時代において、家柄にとらわれず個人の才能や功績がある者を役人として登用するために、冠の色によって位の高さを示した制度を何といいますか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- 冠位十二階
 - 万葉集の編纂
 - 枕草子の執筆
 - 墾田永年私財法
- 問3 7世紀中ごろ、中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を倒して始めた政治改革(大化の改新)ののち、即位して天智天皇となった彼の事績について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- 天武天皇のあとを継ぎ、律令国家の完成を目指して平城京に都を移し、和同開珎などの貨幣を鑄造させた。
 - 聖徳太子の摂政として冠位十二階や十七条の憲法を制定し、仏教を厚く保護して法隆寺などの寺院を建立した。
 - 壬申の乱で大友皇子を破って即位し、強力な権力を持って飛鳥浄御原宮で新しい政治の仕組みを整えた。
 - 唐や新羅による侵攻に備えて、西日本の要所に山城を築き、内陸の大津宮に都を移したほか、日本初の全国的な戸籍を作成した。
- 問4 7世紀初めに小野妹子らが使節として中国の隋へ送られた背景として、当時の日本が目指していたことについて述べたものとして最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- 中国の軍勢力を背景に、朝鮮半島の新羅を攻撃するため
 - 中国の進んだ制度や文化を学び、国家の仕組みを整えるため
 - 中国で流行していた禅宗の教えを、僧に学ばせるため
 - 中国の皇帝から日本の王としての地位を認めもらうため
- 問5 中大兄皇子(天智天皇)らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること
 - 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること
 - 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること
 - 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること
- 問6 7世紀後半の飛鳥時代において、壬申の乱という後継者争いに勝利して即位し、天皇中心の中央集権的な律令国家の建設を本格的に進めた人物は誰ですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- 聖武天皇
 - 桓武天皇
 - 推古天皇
 - 天武天皇
- 問7 古代日本の国家形成の過程において、天智天皇の後継をめぐる混乱を経て、中央集権的な統治が強化されたことを示す歴史上の出来事はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- 承久の乱
 - 壬申の乱
 - 白村江の戦い
 - 保元の乱
- 問8 6世紀に日本へ仏教を伝えた朝鮮半島の国であり、のちに唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。この国が滅亡した際、日本はその再興を支援するために大軍を朝鮮半島へ派遣しました。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- 新羅
 - 百済
 - 高麗
 - 高句麗
- 問9 「和を以て貴しとなし」という言葉から始まり、仏・法・僧の三宝を敬うことや、天皇の命令を受けた際には必ずそれに従うべきことなどが役人の心得として示された、聖徳太子(厩戸王)が定めたとされる規範を何といいますか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- 大宝律令
 - 御成敗式目
 - 武家諸法度
 - 十七条の憲法
- 問10 飛鳥時代の国防施設である「水城」や「山城」が築かれた経緯と、それに協力した渡来人の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 国内の豪族の反乱を鎮圧するための拠点として、隋から招いた軍事顧問が軍事的な拠点の築城を指導した。
 - 遣唐使の派遣を安全に行うための寄港地として、新羅から派遣された建築家が大陸風の城郭を整備した。
 - 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅の侵攻に備えるために、百済から亡命してきた技術者の知識を借りて国防を固めた。
 - 仏教の伝来とともに、寺院や宝物を外敵から守る目的で、高麗から来た僧侶たちが最新の防御技術を伝えた。
- 問11 7世紀の初め、聖徳太子(厩戸王)が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に、中国の進んだ制度や文化を取り入れるために派遣された使節を何といいますか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 朝鮮通信使
 - 日宋貿易船
 - 遣隋使
 - 遣唐使
- 問12 7世紀後半、日本が対馬や九州、瀬戸内海沿岸などに「山城」を築き、大規模な国防強化を行うこととなった直接の理由として正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- 蝦夷(えみし)との戦いが激化し、東北地方の支配権を確立するため。
 - 平将門の乱や藤原純友の乱が発生し、地方の治安が急速に悪化したため。
 - 遣唐使を廃止したことで唐との国交が断絶し、緊張状態が高まったため。
 - 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、日本本土への侵攻が懸念されたため。
- 問13 7世紀中頃の東アジア情勢において、唐と新羅の連合軍に攻められた百済を救援するため、日本が朝鮮半島へ大軍を派遣して戦い、大敗した出来事を何というか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- 白村江の戦い
 - 刀伊の入寇
 - 元寇
 - 文永の役
- 問14 660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼし、その3年後に日本が百済復興を助けようとして唐・新羅連合軍に大敗した「白村江の戦い」という歴史的背景を踏まえ、日本が九州北部に「防人」を配置した直接的な目的として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- 九州地方で頻発していた政府への反乱を武力で鎮圧し、国内を安定させるため
 - 大陸の先進的な文化を取り入れるため、唐からの使者を九州で手厚く迎えるため
 - 九州北部の広大な未開墾地を兵士に耕作させ、大陸への輸出入穀物を生産するため
 - 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため